



株主のみなさまへ

第76期 中間報告書

2025年7月1日～2025年12月31日



株式会社 高見澤

サステナビリティ経営への取組みを加速と同時に、企業価値の向上を目指してま

させ、持続可能な未来の実現に貢献する いります。



代表取締役社長
高見澤 秀茂

株主のみなさまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第76期中間報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の好調さが持続するとともに、デジタル化や脱炭素化を背景とした企業の投資意欲が引き続き堅調で、業種を問わず設備投資が底堅く推移しました。一方、物価上昇や実質賃金の伸び悩みを背景に、個人消費にはやや慎重な動きがみられ、景気は力強さを欠く状況が続きました。また、人件費の上昇やエネルギーをはじめとする各種コストの増加が、企業収益や家計収支への負担要因となっています。

さらに、ウクライナや中東情勢の緊迫化、アジア太平洋地域における米中対立、中国経済の減速、米国の通商政策動向などにより、地政学的リスクが高まり、グローバル経済の不確実性を増大させています。加えて、円安基調の長期化に伴う輸入物価の高止まりや、米国の関税政策が外需関連産業に及ぼす影響などにより、国内経済の先行きに対する慎重な見方が強まっており、依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高37,967百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益716百万円（前年同期比21.6%減）、経常利益806百万円（前年同期比28.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益704百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

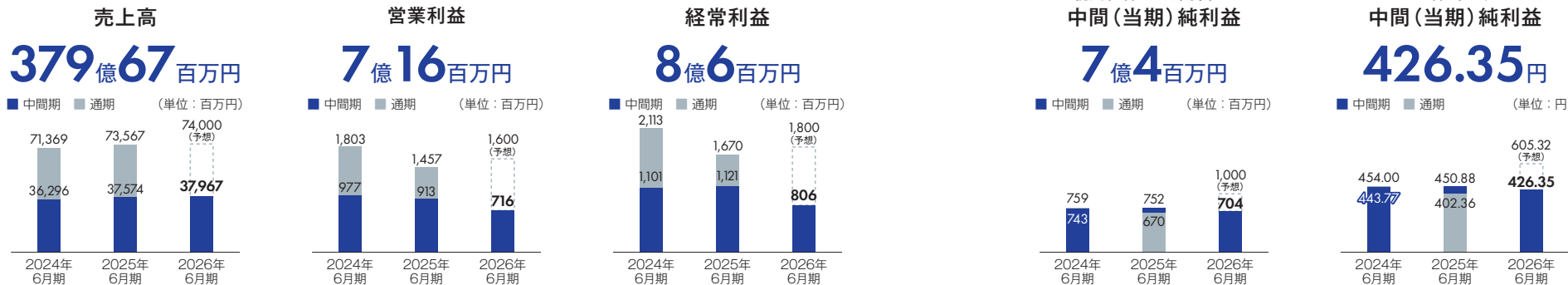
当社は、今後も変化の激しい事業環境のもと、中長期的な企業価値の向上を最重要課題と位置づけ取り組んでまいります。2025年7月に策定した「サステナビリティ経営方針書」にそつて、環境・社会・人財・ガバナンスの各課題に真摯に向き合い、持続可能な成長と社会への貢献を両立させるべく、グループ一丸となって着実に実行してまいります。

そして、経営理念にある「顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、信頼され、貢献でき、存在感のある良い会社（グッドカンパニー）」となるよう、グループ全員参加の経営を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月

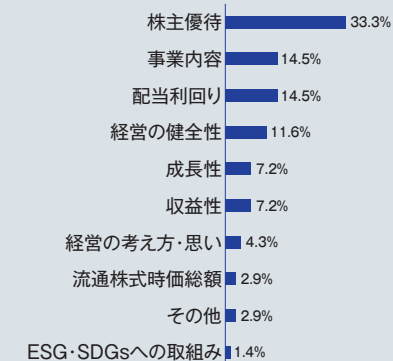
連結財務 ハイライト



株主さまアンケート結果のご報告

「第75期 報告書」にてアンケートにご協力いただきありがとうございました。みなさまからの貴重なご意見を今後のIR活動に活かしてまいります。

Q 当社に投資する決め手となったポイントは何か? (複数選択可)



株主優待のお知らせ

当社は株主さまご優待として、フードセグメントで製造販売しております「なめ茸“志賀の郷”」をお送りしています。



対象株主

基準日(6月30日)時点
200株以上ご所有の株主さま

贈呈内容

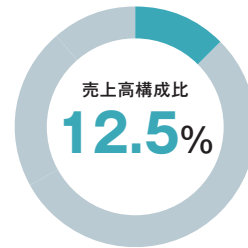
1名様につき
なめ茸“志賀の郷”6本セットを贈呈

事業別セグメントの概況（連結）

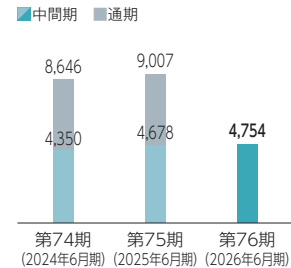
建設関連事業

事業領域

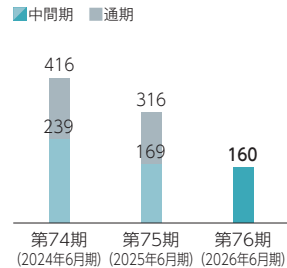
主にコンクリート二次製品、生コンクリート、砂利・砂の製造販売のほか、請負工事、建設に関連した資材の販売等を行っております。



売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



▶ 当中間期のポイント

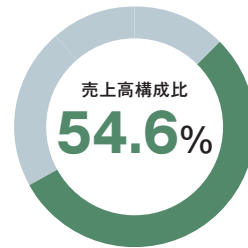
公共向け及び民間向けともに需要量はやや低調に推移したものの、工法提案を始めとする積極的な営業活動の効果により増収となりました。一方で、生産効率向上による原価低減や付加価値の向上に努めたものの、人件費、材料費及び販売費の増加を吸収しきれず減益となりました。この結果、建設関連事業の売上高は4,754百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は160百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

※当中間連結会計期間より、各セグメント利益又は損失をより適切に把握するために、従来配分していない全社費用の一部について、各報告セグメントへセグメント資産及び人件費を基に按分する方針に変更しております。この変更に伴い、従来の方法による場合に比べ、当中間連結会計期間のセグメント利益が、「建設関連事業」で72百万円、「その他事業」で57百万円それぞれ減少し、セグメント損失が、「カーライフ関連事業」で69百万円増加しております。

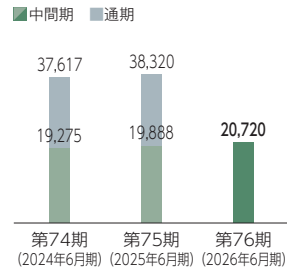
電設資材事業

事業領域

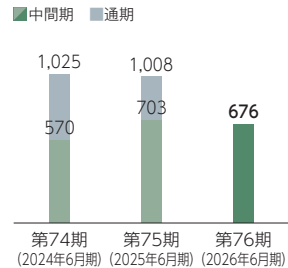
主に電設資材、産業機器及び空調システム等の販売を行っております。



売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



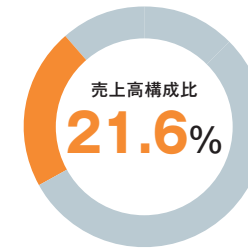
▶ 当中間期のポイント

公共向け及び民間向けともに、省エネ・省力化や環境負荷低減に関わる設備投資案件への販売が好調に推移し増収となりましたが、人件費及び販売費の増加を吸収しきれず減益となりました。この結果、電設資材事業の売上高は20,720百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は676百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

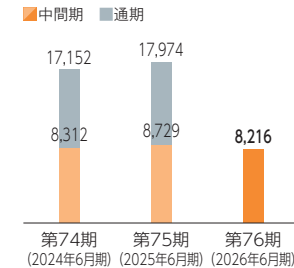
カーライフ関連事業

事業領域

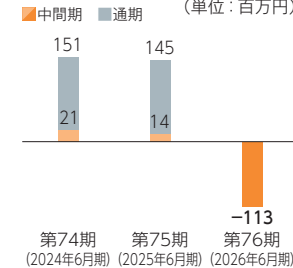
主に石油製品の販売及び自動車の販売・整備を行っております。



売上高 (単位：百万円)



営業利益又は損失 (単位：百万円)



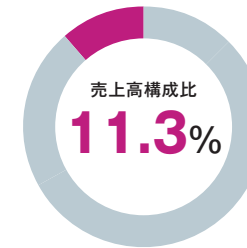
▶ 当中間期のポイント

石油部門では、燃料油の小売販売量が前年を下回ったものの、法人向け産業用燃料については積極的な顧客拡大により販売量が増加しました。一方で、販売競争の激化に加え、政府の暫定税率廃止に向けた補助金拡充政策により、販売価格が低下し減収となりました。また、競合環境の悪化による利幅の減少に加え、人件費及び販売費の増加を吸収しきれず減益となりました。オート部門では、自動車販売台数は前年並みを確保したものの、整備関連売上が低調に推移したことから減収となりました。また、人件費及び販売費の上昇に加え、新店舗に係る費用の増加により減益となりました。この結果、カーライフ関連事業の売上高は8,216百万円(前年同期比5.9%減)、営業損失は113百万円(前年同期は営業利益14百万円)となりました。

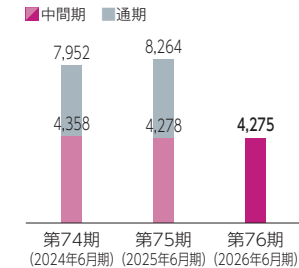
その他事業

事業領域

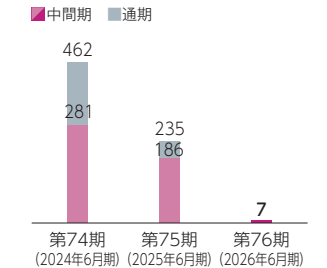
主に不動産取引及び食品に関する製造販売等の、様々な生活に関する個人消費者向けの事業を行っております。



売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



▶ 当中間期のポイント

フード関連事業において、農業関連部門では、農産物取扱高は概ね前年並みを確保したものの、天候不順の影響により原料高になり利幅が減少しました。また、主力のきのこ培地販売においては、積極的な受注活動により販売量は増加したものの、価格競争の激化を背景に原材料費、人件費及び諸経費の増加による原価上昇分を価格転嫁しきれず増収減益となりました。飲食料品部門では、家庭内消費が引続き堅調に推移したことから増収となりましたが、原材料費、人件費及び諸経費の上昇により減益となりました。エステート関連事業において、不動産部門では、資材価格や労務費などの上昇による不動産価格の高止まりを背景に需要が低調に推移し、積極的な受注活動と原価の低減に努めたものの、減収減益となりました。この結果、その他事業の売上高は4,275百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は7百万円(前年同期比95.8%減)となりました。

ESTATE SEGMENT

エステートセグメント



不動産

環境エンジニアリング

施設運営

当社は第75期より、関連性の高い事業をグループ化したセグメント制へ移行しました。今回はエステートセグメントの事業内容についてご紹介いたします。

安心して相談できる不動産事業の
地域No.1を目指して

不動産

創業の地である北信地域を中心に、不動産関連事業を展開しています。創業以来培ってきた地域の情報・知識・信用を活かし、地域のみなさまに役立つ不動産情報を提供し、サポートする体制を整えています。

● 開発分譲

安心した生活の基盤となる土地や住宅を供給するため、宅地造成・土地分譲・建売住宅等の開発・販売に努めています。



● 賃貸運営管理

アパート・マンション・ビル・事業用地の不動産投資を行い、自社で所有する不動産の賃貸運営管理や不動産を所有するオーナー様の不動産維持管理・賃貸運営を代行するサブリース事業を行っています。収益が悪化したアパートや権利関係が複雑な土地の買取も積極的に検討し不動産有効活用を追求します。

● 売買仲介

大切にされてきた不動産の「売却」を希望するお客さまと、新しい暮らしのために土地建物を「購入」したいお客さまが、お互いにとって安心かつ公正な売買価格で契約できるように、専門スタッフが真摯に向き合い「仲介業務」を行っています。

MESSAGE

不動産は人生のなかでも大きな買い物です。お客さまの人生の節目に携わることができ、責任が伴いますが達成感も大きいです。今後は、空き家活用などを通じて地域社会への貢献を果たしていきたいです。



限りある資源を有効に

環境エンジニアリング

産業廃棄物の収集運搬を通じて資源のリサイクル化の推進を図ると共に、再生可能エネルギーの有効利用を推進し、これからも限られた資源を“再び使う”取組みを進めてまいります。



MESSAGE

地球に優しい太陽光エネルギーの導入を通じて、お客さまの暮らしにお得と安心を提供することが私の使命です。長期的に信頼される存在を目指し、お客さまに最適なご提案をいたします。



● 太陽光発電&蓄電システム

地球環境に優しい太陽光導入をご提案しています。



● ソーラー発電所

自社で竣工した高見澤リサイクルセンター太陽光発電所の運営管理業務を行っています。



● 産業廃棄物収集・運搬

産業廃棄物の収集・運搬業務や、土壌汚染に関する調査・分析・運搬・処分のご提案を行っています。



● 小水力発電所

近年は小水力発電に注力し、小水力発電所の稼働実現に向け取組みを推進しています。



地域社会を元気にする

施設運営

ゴルフ練習場及びゴルフショップ(ゴルフパートナー)を運営しています。最新の設備と充実したレッスンプログラムにより、初心者から上級者まで幅広い層のゴルファーにご利用いただいております。

MESSAGE

ゴルフという生涯スポーツを通じて、お客さまの健康増進と心身のリフレッシュに貢献できることにやりがいを感じています。幅広いニーズにお応えし、快適な練習環境を提供してまいります。



● アップルライン ゴルフセンター・スクール

95席を備える練習場では、スクールやイベントも開催し、お客さまの幅広いニーズにお応えしています。



● ゴルフパートナー

各メーカーの新品クラブや中古クラブをはじめゴルフに必要な商品を豊富に取り揃えています。

株主さまご優待品
なめ茸“志賀の郷”

株主優待を活用したレシピをご紹介します!



なめ茸
グルメ

野沢菜なめたけとゴボウのつけそば

材料(2人分)

- 志賀の郷 野沢菜 … 大さじ2
- そば …………… 2人前
- めんつゆ …………… 50cc
- 水 …………… 200cc
- みりん …………… 20cc
- うす揚げ …………… 20g
- 長ネギ …………… 少々
- ゴボウ …………… 20g



作り方

- 1 鍋にめんつゆ、水、みりんを入れ火にかけてゴボウのさがき、うす揚げを入れて煮る
- 2 そばを茹でる
- 3 そばを皿に盛り、器につけそば用の汁①を入れ「志賀の郷 野沢菜」と小口切りにした長ネギを乗せる

株主優待に関するお問合せ先

株式会社高見澤 本社
TEL : 026-228-0111



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日 毎年6月30日
 そのほか必要ある場合には、あらかじめ
 公告いたします。

定時株主総会 9月中
期末配当金受領株主確定日 6月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先 (連絡先)
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 (郵送先)
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告いたします。公告掲載の当社のホームページアドレス
<https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主のみなさまの声をお聞かせください!

コエキク

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェア
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



株式会社 高見澤

〒380-0813 長野県長野市大字鶴賀字苗間平1605-14
高見澤ダイヤモンドビル7F
Tel 026-228-0111 Fax 026-227-8046
<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

